

10月1日(土)・大会1日目 10:00~11:20 (C会場:1201) (80分)

●セッション【3】

「日本企業におけるイノベーションの再活性化と組織」

* 遠藤 健哉(成城大学 社会イノベーション学部 教授)
山崎 秀雄(武蔵大学 経済学部 教授)
山田 敏之(大東文化大学 経営学部 教授)
周 炫宗(日本大学 商学部 准教授)
横尾 陽道(千葉大学 大学院社会科学研究院 教授)
久保田達也(成城大学 社会イノベーション学部 准教授)
大沼 雅也(横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授)
積田 淳史(成城大学 社会イノベーション学部 准教授)

* セッション・リーダー

[概要]

本セッションでは、「日本企業におけるイノベーションの現状と課題」(遠藤・山崎)を踏まえたうえで、日本企業におけるイノベーションの再活性化と組織について、視点の異なる二つの研究グループによる報告をもとに議論したいと思います。一つ目は「共創の能力によるイノベーション促進と組織マネジメント—心理的安全性の構築に着目して」(山田・周・横尾)で、組織内外の経営資源を有機的に結合させ、それによって事業を創出する共創の能力の重要性に着目する研究です。日本の上場製造企業に対する質問票調査の結果等を踏まえ、共創の能力の発揮を促す組織マネジメントのあり方について報告いただきます。

二つ目は「専門家によるユーザーイノベーション:なぜ医師は医療機器開発に関与するのか」(久保田・大沼・積田)で、専門的知識をもつ組織外のユーザーのイノベーションへの関与に関する研究です。今回は、大学病院の医師を対象とした質問票調査に基づき、医師の医療機器開発への関与度合いとそれに影響を及ぼす諸要因について報告いただき、イノベーションを生み出す上で重要な外部の専門家の関与をいかに促すか等に対する示唆をご提供いただきます。セッションの後半には、フロアの参加者も含めてそれぞれのご報告に関する質疑応答と意見交換を行う予定です。

[参加者へのメッセージ]

日本企業のイノベーションを再活性化するには、その土台となる組織をいかにマネジメント(変革)することが求められるのか。本セッションでは、この問いを「組織レベル(組織構造、組織文化、管理体制等)と個人レベル(メンバーやマネージャーの行動、ユーザー等)」、「組織内(経営資源、プロセス)と組織外(外部知識の取り込み)」の観点から検討することに加え、それらの变数の間にどのような関係があるのかを探ることも目的にしています。

経営環境が劇的に変化する状況のもと「日本企業におけるイノベーションの再活性化と組織」についての議論の必要性は高まってきています。この問題について、ぜひフロアの皆様と共に考えていきたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。